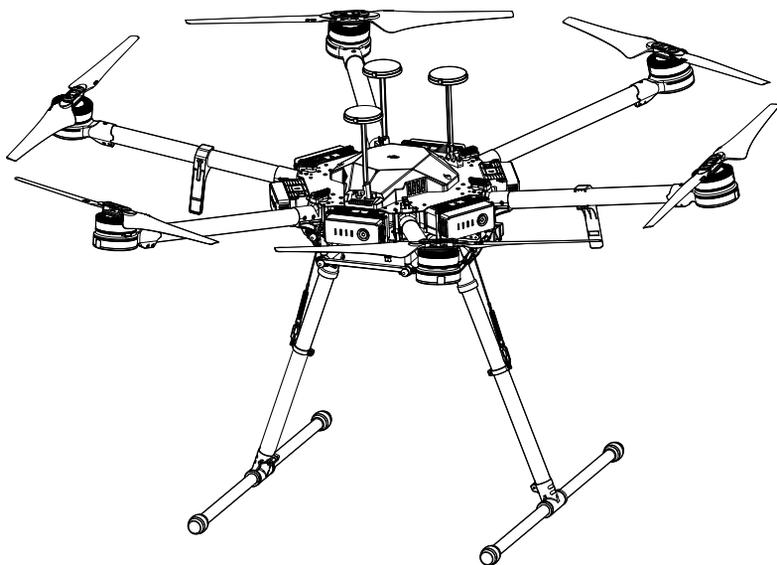


MATRICE 600 PRO

クイックスタートガイド

V1.0

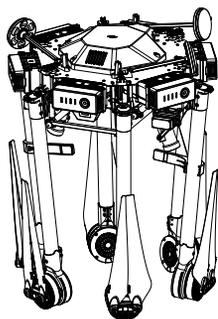
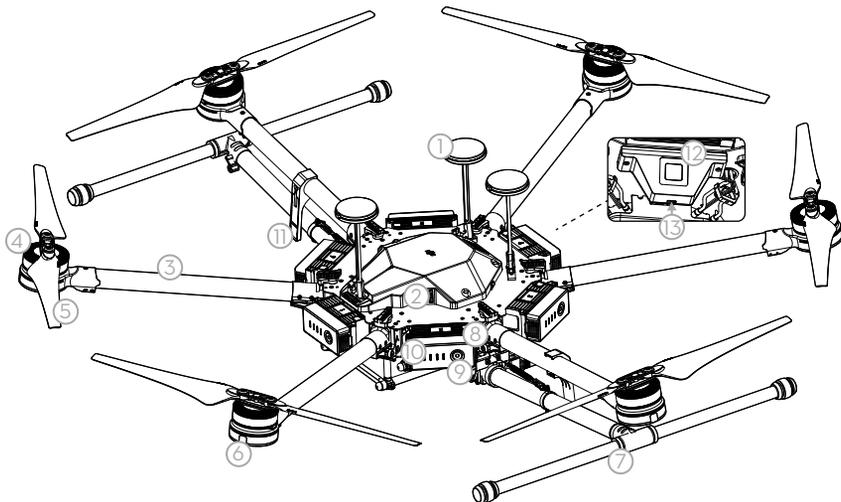


MATRICE 600 PRO

MATRICE™ 600 Pro には、専用の DJI™ A3 Pro (3 重のモジュラー型冗長システム) と先進のインテリジェントフライト機能が実装されており、常に安全かつ安定した飛行を可能にしています。6 個のインテリジェント・フライト・バッテリーにより、Matrice 600 Pro は 32 分間ホバリングできます*。機械設計としては、クイックリリース式ランディングギアおよび取り付け済みの折りたたみ式アームにより、運搬、保管、フライト準備が容易です。

同梱の DJI Hex Charger は、最大 6 個のインテリジェント・フライト・バッテリーと 2 台の送信機を同時に充電できます。

Matrice 600 Pro は、多くの DJI のジンバルシステムに対応していることに加え、格納式ランディングギアにより、取り付けたカメラは、360 度の視界をクリアに捉えることができます。Matrice 600 Pro は、ペイロードなしの重量*が 9.5 kg、最大離陸重量が 15.5 kg です。さまざまな業界の固有のニーズに応えます。



ランディングギアなしで折りたたんだ Matrice 600 Pro。

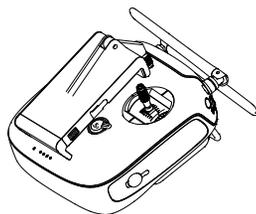
1. GPS-Compass Pro
2. センターフレーム
3. フレームアーム
4. モーター
5. プロペラ
6. ESC LED
7. ランディングギア
8. インテリジェント・フライト・バッテリー
9. 電源ボタン
10. バッテリーレベル LED
11. アンテナ
12. 機体ステータスインジケーター
13. Micro USB ポート

* ホバリング時間は、TB47S インテリジェント・フライト・バッテリー 6 個を使用して 10 % のバッテリー残量、海拔 10 メートル、無風状態の条件で算出しています。対応している DJI のジンバルモデルは、「仕様」を参照してください。ペイロードなしの重量には、ランディングギアと TB47S インテリジェント・フライト・バッテリー 6 個が含まれます。

送信機

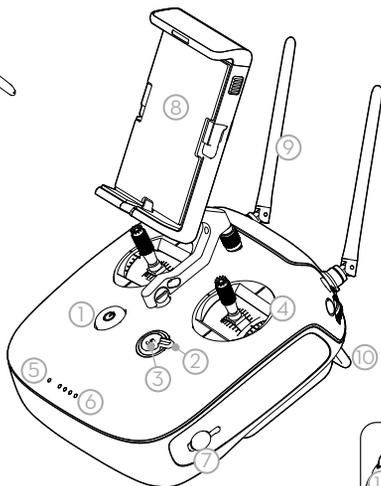
Matrice 600 Pro の送信機の最大伝送距離は 3.5 km (日本仕様) です。内蔵 LiPo バッテリーは、1 回の充電で最大 4 時間機器に電力を供給できます。人間工学に基づいた設計により、ジンバル (別売) を快適に制御できます。これは、機体を操作するときに非常に重要です。ランディングギアの上げ下げや Return-to-Home をボタン操作で実行できます。

送信機には LIGHTBRIDGE™ 2 HD ビデオダウンリンクが内蔵されており、機体のカメラが捉えた映像を DJI GO™ アプリにリアルタイムに表示できます。デュアル送信機モードを使用すると、2 台の独立した送信機で機体とカメラを別々に操作できます。送信機同士の通信範囲は最大 50 メートルです。

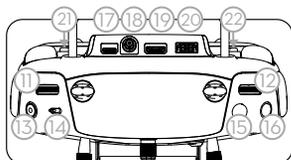


折りたたんだ状態

11. ジンバルダイヤル
12. カメラ設定ダイヤル
13. 録画ボタン
14. フライトモードスイッチ
15. シャッターボタン
16. 再生ボタン
17. Micro USB ポート
18. SDI ポート
19. HDMI™ ポート
20. USB ポート
21. C1 ボタン
22. C2 ボタン

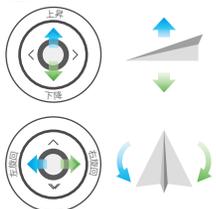


1. 電源ボタン
2. ランディングギア制御スイッチ
3. RTHボタン
4. コントロールスティック
5. ステータス LED
6. バッテリーレベル LED
7. 電源ポート
8. モバイルデバイス・ホルダー
9. アンテナ
10. ハンドルバー

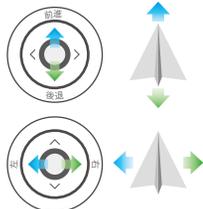


デフォルトでは、スティックモードはモード 2 に設定されています (左側スロットル)。左側スティックは、機体の高度と進行方向を制御します。右側スティックは、機体の前進、後退、および側面方向の動きを制御します。ジンバルダイヤルは、カメラのチルトまたはパンを制御します。

左スティック



右スティック



ジンバルダイヤル



- ⚠ ● 送信機の接続方法と使用方法の詳細については、Matrice 600 Pro のユーザーマニュアルを参照してください。
- DJI GO アプリでスティックモードを変更できます。

* 送信機の最大伝送距離 (FCC) は、電磁干渉のない開けた場所で高度 120 m であれば、最大 5 km です。ただし、日本仕様の最大伝送距離は 3.5 km です。最大稼働時間はラボ環境でテストされており、参考値です。

MATRICE 600 PRO の使用方法

1. DJI Assistant 2 および DJI GO アプリのダウンロード

下記のウェブサイトリンクから DJI ASSISTANT™ 2 をお手持ちのコンピューターにダウンロードし、インストールします。

<http://www.dji.com/matrice600-pro>

App Store または Google Play で「DJI GO」を検索して、お手持ちのモバイルデバイスにアプリをダウンロードします。

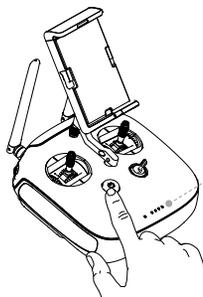


DJI GO アプリ

- DJI Assistant 2 は、Windows 7 以降、OS X 10.11 以降に対応しています。
- DJI GO は iOS 8.0 以降、Android 4.1.2 以降に対応しています。

2. バッテリーレベルのチェック

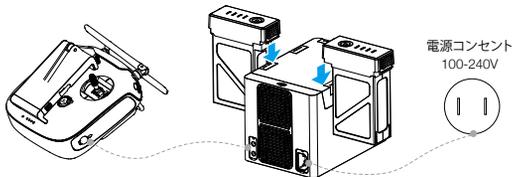
- ボタンを 1 回押すと、バッテリーレベルを確認できます。
- ボタンを 1 回押し、次に長押しすると、電源がオンまたはオフになります。



3. バッテリーの充電

Matrice 600 Pro を使用する前に、6 個のインテリジェント・フライト・バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

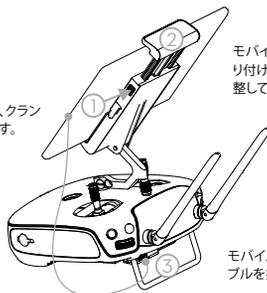
- インテリジェント・フライト・バッテリーは初回使用前に完全に充電しておく必要があります。
- インテリジェント・フライト・バッテリーおよび送信機を充電するときは、必ず DJI 純正の充電器を使用してください。充電前にインテリジェント・フライト・バッテリーの電源を切ってください。
- 充電が完了すると、インテリジェント・フライト・バッテリーおよび送信機の LED ランプが消えます。



4. 送信機の準備



ボタンを押して、クランプを取り外します。



モバイルデバイスを取り付け、クランプを調整して固定します。

モバイル機器に USB ケーブルを接続します。

5. 機体の準備

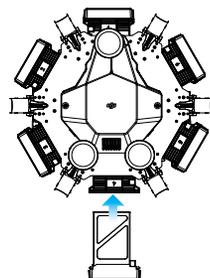
ランディングギアの取り付け



バッテリーを取り付けて電源をオンにする

1. 6個のインテリジェント・フライト・バッテリーが完全に充電され、電源がオフになっていることを確認してください。バッテリーをバッテリー収納室に挿入します。
2. 電源ボタンを1回押し、次に2秒間長押しします。これにより6個のバッテリーのうちいずれか1つのバッテリーの電源がオンになり、その他のバッテリーの電源も自動的にオンになります。

- !**
- バッテリーの損傷を避けるため、手で2個以上のインテリジェント・フライト・バッテリーの電源をオンにしないでください。
 - 6個のバッテリーのいずれかの電源をオンにしても、その他のバッテリーの電源がオンにならない場合は、DJI GO アプリに表示される指示を確認してください。
 - 1個のバッテリーの電源をオフにすると、その他すべてのバッテリーの電源も自動的にオフになります。



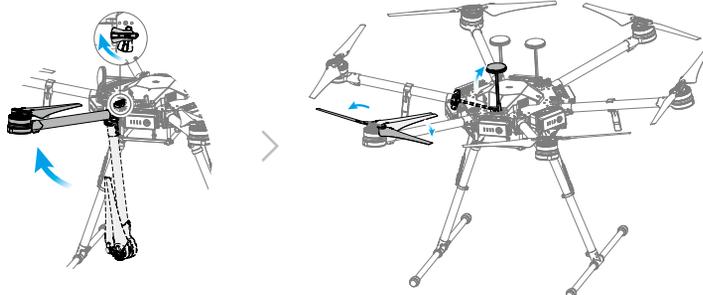
機体のアクティベーション

Matrice 600 Pro を初めてお使いになるときは、DJI Assistant 2 ソフトウェアを使用して Matrice 600 Pro をアクティベートします。Matrice 600 Pro の Micro USB ポートを Micro USB ケーブルでコンピュータに接続し、DJI Assistant 2 の手順に従ってください。

- !**
- 初回起動時は、ユーザーの DJI アカウントとインターネットに接続できる環境が必要です。



機体の展開



- !**
- 機体を展開する前に、すべてのインテリジェント・フライト・バッテリーの電源がオフになっていることを確認してください。
 - 展開後、GPS-Compass Pro 上のすべての矢印が機体の前方に向いていることを確認してください。

6. 飛行



Ready to Go (GPS)

離陸の前に、DJI GO アプリの機体ステータスバーに「Ready to Go (GPS)」が表示されていることを確認してください。

DJI GO アプリ:



自動離陸

機体が離陸し、高度 1.2 メートルでホバリングします。



自動着陸

機体が垂直に着陸し、モーターが停止します。



RTH (Return-to-Home)

機体をホームポイントに戻します。もう一度タップすると、Return-to-Home は中止されます。



インテリジェント・フライト・モード

タップにより、ポイント・オブ・インタレスト (POI)、ウェイポイントなどを利用できます。

! ホームポイントに帰還中の機体は障害物を自動で回避できません。このため、離陸前に適切な RTH 高度を設定しておく必要があります。コントロールスティックも使用して機体を誘導する必要があります。詳細については、免責事項および安全に関するガイドラインを参照してください。

手動での離陸



モーター始動/停止のコンビネーション・スティック・コマンド

左スティックをゆっくり上げて離陸

手動での着陸

必ずランディングギアを下げってから、着陸してください。



上昇



下降

RTHボタン (送信機)



DJI GO アプリの RTH ボタンと同じです。機体がホームポイントに戻ります。長押しすると、Return-to-Home が作動します。もう一度 RTH ボタンを押すと、Return-to-Home は中止します。

地面に着くまで左スティックをゆっくりと下げます。そのまま数秒間左スティックを下げ続けると、モーターが停止します。



! 回転中のプロペラに触れると危険です。付近に人がいる場合は、モーターを始動しないでください。フライト中は絶対にモーターを停止しないでください。機体が墜落する恐れがあります。モーターが回転しているときは、送信機から絶対に手を離さないようにしてください。



ご自身の安全と周りの人々の安全のため、基本的なフライトガイドラインを理解することが重要です。詳細については、免責事項および安全に関するガイドラインを参照してください。



飛行禁止区域

詳細については、以下をご覧ください。
<http://flysafe.dji.com/no-fly>

仕様

● 機体

対角寸法	1133 mm
寸法	1668 mm × 1518 mm × 727 mm (プロペラ、 フレームアーム、GPS マウントを広げた状態) (ランディングギアを含む) 437 mm × 402 mm × 553 mm (プロペラ、 フレームアーム、GPS マウントが折りたたまれた状態) (ランディングギアを含まず)
重量 (TB47S バッテリー 6 個を含む)	9.5 kg
重量 (TB48S バッテリー 6 個を含む)	10 kg
推奨最大離陸重量	15.5 kg
ホバリング精度 (P-GPS)	垂直: ±0.5 m、水平: ±1.5 m
最大角速度	ピッチ: 300°/秒、ヨー: 150°/秒
最大ピッチ角	25°
最大風圧抵抗	8 m/s
最大上昇速度	5 m/s
最大下降速度	3 m/s
最大速度	65 km/h (無風状態)
運用限界高度 (海拔)	2170 プロペラ: 2500 m、2195 プロペラ: 4500 m
ホバリング時間* (TB47S バッテリー 6 個を含む)	ペイロードなし: 32 分、ペイロード 6 kg: 16 分
ホバリング時間* (TB48S バッテリー 6 個を含む)	ペイロードなし: 38 分、ペイロード 5.5 kg: 18 分
フライト・コントロール・システム	A3 Pro
対応 DJI ジンバル:	Ronin-MX、ZENMUSE™ Z30、Zenmuse X5/X5R、Zenmuse X3、Zenmuse XT Zenmuse Z15 シリーズ HD ジンバル: Z15-A7、Z15-BMPCC、Z15-SD III、Z15-GH4
格納式ランディングギア	標準
動作環境温度	-10~40°C

● 送信機

動作周波数	920.6 MHz~928 MHz (日本仕様)、5.725 GHz~5.825 GHz (海外仕様)、 2.400 GHz~2.483 GHz
最大伝送距離	3.5 km (日本仕様、障害物や干渉がない場合)
ビデオ出力ポート	HDMI、SDI、USB
動作環境温度	-10~40°C
バッテリー	6000 mAh LiPo 2S

● 充電器 (モデル: MC6S600)

電圧出力	26.1 V
定格出力	600 W
単一バッテリーポートの出力電力	100 W

● 標準バッテリー (モデル: TB47S)

容量	4500 mAh
電圧	22.2 V
バッテリータイプ	LiPo 6S
電力量	99.9 Wh
正味重量	595 g
動作環境温度	-10~40°C
最大充電電力	180 W

● 別売バッテリー (モデル: TB48S)

容量	5700 mAh
電圧	22.8 V
バッテリータイプ	LiPo 6S
電力量	129.96 Wh
正味重量	680 g
動作環境温度	-10~40°C
最大充電電力	180 W

* ホバリング時間は海拔 10 メートル、無風状態、バッテリー残量 10 % の着陸条件で算出しています。



DJI incorporates HDMI™ technology.
The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

詳細はユーザーマニュアルをご覧ください。ユーザーマニュアルは以下からダウンロードできます。
www.dji.com/matrice600-pro

※ このコンテンツは予告なく変更することがあります。

MATRICE™ は DJI の商標です。
Copyright © 2016 DJI All Rights Reserved.

Designed by DJI. Printed in China.

MATRICE 600 PRO